

オニヒトデ

オニヒトデ（オニヒトデ）は、体の上部の表面を覆っているトゲのためにそう呼ばれますが、サンゴの生態系に不可欠です。これらのヒトデは主に成長の早いサンゴを食べ、そうでなければ死んでしまう成長の遅いサンゴにスペースをつくり出して、サンゴ礁の多様性を守る手助けをしています。しかし、オニヒトデが通常の数以上に繁殖すると、サンゴ礁を築いているすべてのサンゴを食べ尽くし、自然のバランスを著しく壊してしまう場合があります。オニヒトデは、個体数を抑え、海洋生態系の安定性を維持するために、土佐清水沖の海では定期的に除去されています。